平成３０年度　社会福祉法人中信社会福祉協会事業報告

１　取組目標

利用者が快適に過ごせ、職員が安全に働くことができる環境の整備を進めます。

２　取組結果

⑴　社会福祉法人制度改革の推進

ア　事業運営の透明性の確保

（ｱ）　法人第１次中長期計画（おもいやりビジョン）の策定

法人の基本理念を具現化し、将来にわたって法人が安定的・継続的に事業運営を展開するため、今後１０年間を見据えた基本構想及び今後５年間の具体的な取組みを示した前期基本計画を策定しました。

（ｲ）　情報の公開

法人ホームページを活用し、定款、財務諸表、現況報告書等に加え、法人の各種情報を発信しました。

イ　財務規律の強化

（ｱ）　社会福祉充実計画の実施

計画に基づき、次に掲げる事業を実施しました。

・　施設の補強等対策事業（松本障害者雇用支援センターの屋根及び外壁の全面改修事業、共立学舎の陶芸・静養棟整備事業、あい・アドバンス今井の消防設備更新事業、ささらの里のロスナイ換気扇の全面改修事業、第２みすぎの森の進入路整備事業等）

・　防犯対策事業（共立学舎及び各グループホームの防犯カメラ設置事業、みすぎの森の擁壁及びフェンス設置事業）

・　利用者ケース記録システム導入事業

・　第２みすぎの森運営事業

・　職員育成事業（研修の実施及び資格取得希望者に対する支援事業）

・　職員処遇改善事業（処遇改善手当の充実及びストレスチェックの実施）

（ｲ）　適切な会計処理

所轄庁による一般指導監査及び実地指導等並びに監事による決算監査及び中間監査の指摘事項に基づき、事務手続きの見直しを行いました。

ウ　公益事業の推進

次に掲げる事業を継続して実施しました。

（ｱ）　障害者支援施設における日中一時支援事業

（ｲ）　障害者相談支援事業

（ｳ）　タイムケア（利用者一時預かり）事業

(ｴ)　都波岐の杜低所得者利用料減免事業
(ｵ)　信州安心ネットワーク事業への拠出
(ｶ)　独居高齢者等の入浴サービス事業
(ｷ)　地域移行希望者の体験事業
(ｸ)　就労移行支援事業所の利用者に対する交通費助成事業

⑵　障がいの重度化及び利用者の高齢化への対応

法人内に設置した「利用者高齢化対応検討委員会」において、介護保険に移行する場合の手続き方法の確認、退所後のフォロー体制、医療的ケアが必要な利用者の受入れ等について継続して検討することとしました。

⑶　強度行動障がい者への支援

あい・アドバンス今井の取組みを体系化し、実践発表するなど技術的知識を地域に還元しました。

⑷　利用者の安全及び生活環境の確保

ア　安全の確保

(ｱ)　法人大規模災害対応訓練及び安否確認訓練を実施しました。
(ｲ)　法人全職員を対象に安全運転講習会を実施しました。
(ｳ)　各施設及び事業所において、避難訓練、防火訓練及び防犯訓練を実施しました。

イ　生活環境の確保

建築基準法に基づく建物検査の結果を踏まえ、改修が必要となった建物、設備等の整備を行いました。また、老朽化した介護用ベッド及び福祉車両を更新しました。

⑸　職場環境の整備

ア　人材の確保

法人主催の職場説明会の実施のほか、職場説明会への参加、学校訪問、就職ポータルサイトの活用等を進め、人材の確保に努めました。

イ　健康管理の推進

健康診断の充実、ストレスチェック結果に基づく産業医の面談、感染症予防対策を強化し、職員の心身の健康保持・増進に努めました。

ウ　職場環境の整備

毎月、衛生委員会を開催し、職場環境の改善に取り組みました。

平成３０年度　事務局事業報告

１　事業目標

⑴　利用者が安心して過ごせる環境づくりを推進します。

⑵　職場の衛生管理に取り組みます。

２　取組結果

⑴　利用者が安心して過ごせる環境づくり

ア　障がいの重度化及び利用者の高齢化に対応

「利用者高齢化対応検討委員会」を運営し、障がいの重度化及び利用者の高齢化に対する検討を進めました。

イ　事故防止の推進及び人権意識の向上

(ｱ) 虐待防止パンフレットの制作及び人権・権利擁護研修を実施しました。

(ｲ) 事故、ヒヤリハット報告を集約、分析し、再発防止に取り組みました。

(ｳ) 利用者及び家族からの苦情又は意見について、迅速に対応するとともに、情報を共有しました。

ウ　防災対策

法人大規模災害対応マニュアル及び業務継続計画に基づき、法人大規模災害対策訓練、職員安否確認訓練等を実施しました。

エ　防犯対策

共立学舎及び各グループホームに防犯カメラを設置しました。併せて、警察署と連携し、不審者の侵入を想定した防犯訓練を実施しました。

オ　生活環境における安全性の確保

社会福祉充実計画に基づき、利用者の安全確保事業を進めました。

カ　感染症予防対策

加湿器等の予防機器を増設するとともに、手洗い、消毒等の徹底を図りました。

キ　人材の確保及び職員の育成

(ｱ) 法人主催の職場説明会の実施のほか、各種職場説明会、就職面接会等への参加、学校訪問の実施、就職ポータルサイトの活用及び学生アルバイトの受入れにより、人材の確保に努めました。

(ｲ) 国家資格取得希望者に対し、奨学金制度の周知及び活用を図りました。

ク　職員間の情報共有の推進

(ｱ) 業務上必要な情報を共有するため、グループウェア（コンピュータネットワークを活用した情報共有のためのシステムソフトウェア）を全職員に導入しました。

(ｲ) 利用者のケース記録等各種記録システムの導入に向けた検討を進めました。

⑵　職場の衛生管理

ア　衛生委員会の開催

法人衛生計画及び衛生教育計画に基づき、衛生委員会を毎月開催し、職場巡視及び産業医による職員の個別面談を実施しました。

イ　健康診断の充実

３５歳未満及び短時間勤務職員の健康診断項目を拡大しました。

ウ　腰痛予防対策

介護リフト、昇降機能付きベッド等の導入により、職員の身体負荷の軽減対策を進めました。

エ　メンタルケアの推進

全職員を対象にストレスチェックを実施し、結果に基づく業務の見直し、医師による不調者の面接を実施しました。また、新任職員に対し、ヒアリングを行い、業務上の悩みを打ち明けやすい環境づくりに努めました。

オ　ハラスメントの防止

「法人ハラスメント防止方針」の周知を図り、働きやすい職場づくりを進めました。

カ　「職員意識アンケート」の結果に基づく対応

職員意識アンケートの結果に基づき、具体的な対応策を取りまとめ、次年度の事業計画に盛り込みました。

平成３０年度　事務局障害者相談支援センター中信事業報告

１　事業目標

⑴　権利擁護及び意思決定支援の視点に立った社会福祉援助の提供

⑵　人材育成

⑶　地域貢献

２　取組結果

⑴　権利擁護及び意思決定支援の視点に立った社会福祉援助の提供

ア　指定特定相談支援事業及び指定障害児相談支援事業（以下「計画相談事業」という。）の実施

計画作成又はモニタリング時に利用者及び家族の意見を伺い、サービス等利用計画又は障害児利用支援計画に反映しました。

関係機関を招集したケア会議において、支援者全員で利用者の意思決定支援及び目標達成に向けた統一的な支援を実施していくことを確認しました。

イ　松本圏域８市村受託事業（障害者相談支援事業）の実施

計画相談事業に該当しない障がい児・者の相談等に対応しました。

多問題家族等の対応が難しい事例については、関係機関と役割を分担し、利用者の意見を尊重しながら課題の解決方法を模索しました。

⑵　人材育成

ア　相談支援の質の向上を目的に事業内において、週１回、ケース検討会議を実施し、利用者とその家族が抱える生活課題の解決方法を多角的な視点から検討しました。

イ　各種研修への参加

障がい者相談支援従事者研修（現任研修）、強度行動障がい支援者養成研修（基礎研修及び実践研修）、障がい者相談支援従事者専門分野研修（地域移行・地域定着研修）に参加し、相談支援技術の向上を図りました。

松本圏域総合相談支援センターＷｉｓｈの事例検討会及び松本市ケアマネジメント連絡会に参加し、圏域の情報を得るとともに知識及び支援技術の習得を図りました。

⑶　地域貢献

ア　「松本保健福祉圏域自立支援協議会」運営事務局業務の受託

自立支援協議会各種会議の運営に携わり、松本圏域における障がい児・者を取り巻く課題を把握し、課題解決のための協議を進めました。特に、平成３０年度は、地域生活支援拠点等事業の実施に向けて会議を行いました。

イ　総合相談支援センター連絡会議への参加

行政担当者及び他の相談支援センターのコーディネーターとの連携を図り、当圏域の相談支援の発展に寄与しました。

３　利用者の状況（平成３１年３月３１日現在）

⑴　指定特定相談支援事業及び指定障害児相談支援事業

ア　計画作成及びモニタリング件数　（単位：件）

平成２９年度	平成３０年度	増減
１，２３０	１，０６２	△１６８

イ　利用現員　（単位：人）

区　分	平成３０年度当初利用者数	新　規利用者数	計画終了利用者数	平成３０年度末利用者数
指定特定相談支援事業	３７３	２９	２６	３７６
指定障害児相談支援事業	１４	５	１	１８
合計	３８７	３４	２７	３９４

ウ　生活状況　（単位：人）

区　分	入　所	在　宅	合　計
指定特定相談支援事業	１７２	２０４	３７６
指定障害児相談支援事業	０	１８	１８
合計	１７２	２２２	３９４

エ　地域別利用者数

(ｱ) 指定特定相談支援事業　（単位：人）

松本市	大町市	塩尻市	安曇野市	木曽郡	東筑摩郡	北安曇郡	その他	計
２５６	８	３０	３０	５	３２	４	１１	３７６

(ｲ) 指定障害児相談支援事業　（単位：人）

松本市	大町市	塩尻市	安曇野市	木曽郡	東筑摩郡	北安曇郡	その他	計
８	０	０	１０	０	０	０	０	１８

⑵　受託相談支援事業

ア　相談支援回数　（単位：件）

平成２９年度	平成３０年度	増減
１，３８６	１，８４４	４５８

イ　障がい種別　（単位：人）

種別／年度	身体障がい	知的障がい	精神障がい	発達障がい	その他	計
平成２９年度	３	１３	１９	５	７	４７
平成３０年度	４	１３	１１	１０	９	４７

平成３０年度　事務局地域サポートセンター事業報告

１　事業目標

⑴　「健康で安心した生活を送る」を年間目標とし、利用者一人ひとりの個性を尊重した支援に努めます。

⑵　利用者の気持ちを受け止め、心に寄り添う支援を行います。

⑶　家庭的な雰囲気を大切に、グループホームごとに季節の行事を取り入れます。

２　取組結果

⑴　健康で安心した生活

ア　うがい、手洗いを励行し、朝、夕の検温及び月１回の体重測定を実施し、利用者の健康管理に努めました。また、看護師による医療対応の充実を図りました。

イ　世話人全体会を開催し、虐待防止について研修を行いました。

ウ　共同生活を送るなかで、お互いの生活を大切にしながら助け合い、安心した生活を送ることができました。

⑵　利用者の心に寄り添った支援

利用者一人ひとりの気持ちに寄り添うことで、利用者が穏やかに安心した生活を送ることができました。

⑶　家庭的な雰囲気を大切にした行事

利用者に家庭的な雰囲気を感じてもらうため、季節の行事及びグループホームごとの外出を企画・実施し、楽しく過ごすことができました。

３　特記事項

⑴　グループホーム「いっきゅう」の高齢利用者が高齢者施設に移行しました。

⑵　グループホームごとに夜間を想定した避難訓練を実施し、職員が初期消火の方法を学びました。

４　利用者の状況（平成３１年３月３１日現在）

⑴　グループホーム利用定員及び現員　（単位：人）

区分	定員	現員	差引
杉のこ	7	7	0
やまぶき	8	8	0
いっきゅう	7	7	0
さつき	7	7	0
あさがお	7	7	0
西林	7	7	0
合計	４３	４３	0

⑵　平成３０年度異動状況　（単位：人）

区分	新規利用者数	利用終了者数	差引
いっきゅう	1	1	0

⑶　年齢別状況　（単位：人・歳）

区分	18～39歳	40～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合計	平均年齢	前年度平均年齢
男	１０	6	2	3	2	２３	４５．６	４６．２
女	5	9	2	1	3	２０	５２．０	５２．８
合計	１５	１５	4	4	5	４３	４８．４	４９．５

⑷　障害支援区分認定状況　（単位：人）

区分	区分１	区分２	区分３	区分４	区分５	区分６	計	平均区分	前年度平均区分
男	1	5	5	１０	3	0	２４	３．６	３．４
女	1	1	5	6	5	1	１９	３．８	３．６
合計	2	6	１０	１６	8	1	４３	３．６	３．５

⑸　地域別利用者数　（単位：人）

区分	松本市	大町市	塩尻市	安曇野市	木曽郡	東筑摩郡	北安曇郡	その他	合計
男	１３	1	1	3	0	6	0	0	２４
女	7	1	1	1	1	5	0	3	１９
合計	２０	2	2	4	1	１１	0	3	４３

⑹　障がい状況

ア　身体障害者手帳所持状況　（単位：人）

区分	身体１級	身体２級	身体３級	身体４級	身体５級	身体６級	合計
男	0	1	1	1	0	0	3
女	0	0	0	1	0	0	1
合計	0	1	1	2	0	0	4

イ　療育手帳所持状況　（単位：人）

区分	Ａ１	Ａ２	Ｂ１	Ｂ２	合計
男	9	2	8	5	２４
女	6	0	１３	0	１９
合計	１５	2	２１	5	４３

５　生活及び活動の状況

行事等実施状況

月	行事等の内容
４月	世話人会議（各グループホーム）、お花見（いっきゅう、さつき）
５月	お花見（やまぶき、杉のこ、西林）
６月	地区清掃活動（各グループホーム）

７月	避難訓練（各グループホーム）
９月	地区清掃活動、世話人会（あさがお）
１０月	世話人会議（各グループホーム）、ぶどう狩り（いっきゅう）、敬老会（西林）
１１月	避難訓練（さつき、あさがお、やまぶき、西林）
１２月	クリスマス会及び忘年会（各グループホーム）
１月	初詣（西林）、新年会及び地区三九郎（参加）（あさがお）
２月	避難訓練（いっきゅう、杉のこ）、世話人会議及び節分（各グループホーム）
３月	世話人全体会議、世話人会（いっきゅう）

６　健康管理状況

利用者の通院は、地域サポートセンターの看護師が対応し、配薬は、地域サポートセンターの職員が対応しました。

受診人数等　（単位：人・日）

区分	実人数		延日数	
	平成２９年度	平成３０年度	平成２９年度	平成３０年度
受診状況	２	２	５９	２４

平成３０年度　事務局都波岐の杜事業報告

１　事業目標

⑴　「住み慣れた地域で自分らしい生活を続けられるようにする」という地域包括ケアシステムを実現する通所介護事業所として、地域住民の福祉ニーズに対応したサービスを提供し、社会的役割を果たします。

⑵　後期高齢者、認知症及び一人暮らし高齢者が急速に増加しており、介護保険制度は、３年ごとの改正が続いています。平成３０年度の制度改正に対応したサービスのあり方を検討し、安定して事業運営が継続できるよう努めます。

⑶　人権を尊重した利用者主体の質の高いサービス提供を行うため、職員が福祉専門職としてスキルアップできるように各種研修に参加します。

２　取組結果

⑴　地域住民の福祉ニーズに対応したサービスの提供

ア　入浴サービス及び入浴設備貸与事業

平成２９年度から開始した地域における公益的な取組みの「入浴サービス及び入浴設備貸与事業」は、ケアマネージャーからの問い合わせが増え、年間に６人の利用者が延べ３２回利用しました。この入浴サービスの利用から介護保険の利用につながったケースがありました。

イ　利用者の受入れ

新規利用者の受入れは、上半期は１１人と好調でしたが、下半期の新規利用者は３人にとどまり、中・重度（要介護３～５）の要介護者は、平均で３５％となりました。入院等の理由により利用中止となる利用者が例年に比べ少なかったため、利用率は安定していましたが、２月及び３月に中・重度の利用者３人の利用が中止となり、１年間を通しての利用実績は、要支援及び軽度（要介護１～２）の要介護者は７８％となりました。

ウ　地域交流

地域に開かれたサービスとするため、設置が義務付けられた「運営推進会議」の活用、地元の小屋第一公民館で開催される「ふれあいサロン」に参加する等、地域との交流に取り組みました。また、１０周年記念行事には、ボランティアの皆さんに参加していただきました。

⑵　安定した事業運営

平成３０年４月の介護保険に係る介護報酬の改正に伴い、報酬額の増加及び利用率が確保され、安定的に事業を運営することができました。

⑶　質の高いサービスの提供

認知症研修、事業者関係団体主催の研修等に参加した職員が伝達研修を行い、提供するサービスの質を向上することができました。

３　特記事項

⑴　開所１０周年記念行事

当事業所は、平成２１年３月に開所し、平成３０年度に１０年が経過しました。例年行っている開所記念行事は、節目の年として外部からボランティアを招き、利用者にフラダンスや大正琴を堪能していただきました。また、記念品として利用者にタオルを贈呈しました。

⑵　レースカーテン及びアコーディオンカーテンの整備

南道路側に設置しているレースカーテン及びカーテンレールが経年劣化により一部破損したため新調しました。また、フロアと厨房の間に仕切りがなく、衛生面に配慮するため、アコーディオンカーテンを設置しました。

⑶　浴室の修繕

開所から１０年が経過し、浴室内の照明器具、内壁、シャワー金具等が破損したため、修繕工事を行いました。

４　利用者の状況（平成３１年３月３１日現在）

⑴　利用定員及び契約者　（単位：人）

区　分	定　員	契約者数
地域密着型通所介護	１５	３２
総合事業		７

⑵　平成３０年度異動状況　（単位：人）

区　分	新規利用者数	利用終了者数	差引
地域密着型通所介護	１２	１３	△１
総合事業	２	２	０

⑶　年齢別状況　（単位：人・歳）

区分	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	合計	平均年齢	前年度平均年齢
男	０	０	１	４	１	２	８	８４．６	８４．６
女	０	０	８	４	５	１４	３１	８４．２	８５．６
合計	０	０	９	８	６	１６	３９	８５．４	８５．４

⑷　介護区分認定状況　（単位：人）

区分	事業対象者	支援１	支援２	介護１	介護２	介護３	介護４	介護５	合計
男	１	０	１	２	２	０	１	１	８
女	０	１	４	１１	９	３	１	２	３１
合計	１	１	５	１３	１１	３	２	３	３９

⑸　地域別利用者数　（単位：人）

区分	宮田地区	村井地区	神林地区	笹賀地区	芳川地区	筑摩地区	その他	合計
男	0	1	0	2	4	0	1	8
女	4	6	2	7	7	2	3	３１
合計	4	7	2	9	１１	2	4	３９

5　生活及び活動の状況

⑴　行事等の実施状況

月	行事等の内容
４月	お花見
５月	ピクニック
６月	アジサイ見学
７月	七夕祭り
８月	夏祭り
９月	敬老会・総合防災避難訓練
１０月	ぶどう狩り
１１月	紅葉ドライブ・外食会
１２月	クリスマス会
１月	新年会
２月	節分
３月	開設１０周年記念行事
毎　月	誕生会、ツバキノモリンピック

⑵　日中活動の実施状況

活　動	活動の状況
軽体操	全身の軽体操、棒体操、テレビ体操、嚥下機能体操
脳トレーニング	新聞読み聞かせ（質疑応答）、ぬり絵、間違い探し、クロスワードパズル、点つなぎ、計算、漢字問題等各種、脳トレ問題、読書等
創　作	ちぎり絵カレンダー（毎月）、書初め、季節の創作（折り紙、壁掛け等）、ペーパークラフト、編み物、裁縫、花絵アート等
調　理	ヨモギ餅、柏餅、やしょうま、まゆ玉、ピザ、干し柿、クッキー等
外　出	花見、ピクニック、アジサイ見学、昼食外出、ぶどう狩り、紅葉狩り等、地区のふれあいサロン参加（年３回）
イベント	毎月の誕生会、節分、ひな祭り、七夕、夏祭り、敬老会、

	クリスマス会、創立記念行事
レクリエーション	毎月の曜日対抗ツバキノモリンピック（各種ゲーム）、カラオケ、歌、正月あそび、ボッチャ等

6　給　食

年間給食数　（単位：食）

利用者	職員等	合計
３，３１１	５１４	３，８２５

7　短期入所事業等実施状況　（単位：人・日）

区　分	定　員	実人数	延利用日数
松本市ナイトケア事業	３	３	６

8　地域密着型通所介護・総合事業利用実績　（単位：日・人）

月	営業日数	利用契約者	延利用者数	１日平均利用者数
４月	２５	４２	２６７	１０．７
５月	２７	４４	２９２	１０．８
６月	２６	４４	２９３	１１．３
７月	２６	４５	２９５	１１．３
８月	２７	４４	２９４	１０．９
９月	２５	４３	２７３	１０．９
１０月	２７	４２	３０４	１１．３
１１月	２６	４３	２９１	１１．２
１２月	２４	４３	２８４	１１．８
１月	２４	４３	２７５	１１．５
２月	２５	４２	２６４	１０．６
３月	２６	４０	２８９	１１．１
合計	３０８	（平均） ４２．９	３，４２１	（年間１日平均） １１．１

平成３０年度　事務局松本障害者雇用支援センター事業報告

１　事業目標

⑴　利用者と家族の意思を尊重し､利用者の就職が早期に実現できるよう努めます。

平成３０年度の新規利用者の目標を１０人とします。また、就職者の目標を７人とします。

⑵　第一種職場適応援助者（ジョブコーチ）専任職員を活用し、職業生活を円滑に営むことができるように職場定着支援に努めます。特に、就職後６カ月間を重点的に取り組むこととし、前年度の就職者全員を対象とします。また、ＯＪＴ（職場実習）推進員の職員を活用し、有効なＯＪＴを促進し一般就労につなげます。

⑶　第一種職場適応援助者の資格を有効に活用し、障がい者の雇用促進に資するため、長野障害者職業センターと協力して法人連携の支援に努めます。

平成３０年度の目標数は中南信地域で８人とします。併せて、職場実習先の確保を行います。

⑷　技能労働者として社会参加し、その職業能力の向上を図ることを目的に、松本市において開催予定の「第４４回長野県障害者技能競技大会」での入賞を目指します。

２　取組結果

⑴　訓練実績等

日々のトレーニング、トレーニングの振り返り、家族との連携のための連絡シートのやり取り、個別支援会議等を通して、利用者と家族の意思を尊重しながら就労支援を行いました。

雇用支援センターの周知に努めた結果、１０人と利用契約を締結することができました。利用者の就職の早期実現を目指し、次に掲げる内容に取り組み、１１人の就職者を出すことができました。

ア　施設内トレーニング

(ｱ) 障がい特性を踏まえ、訓練の導入期には、生活トレーニングなどを中心に、規則及び時間の厳守、食事前の手洗い、身だしなみの保持、基礎体力作り等に取り組みました。訓練前期（実践的訓練）には、朝礼及び終礼を通して、集団生活の意識付けと集中力及び協調性の体得を､また､施設内外の清掃を通して、注意力、持続力、安全衛生、清潔感及び気づきの醸成に努めるよう支援しました。

(ｲ) 社会性及び対人関係のトレーニングとして、役割演技（ロールプレイ）を用いて､時と所と場合に即した挨拶やマナーなどのコミュニケーション方法や面接技法等を学びました。

(ｳ) 作業トレーニングでは、物品の数え、組立、分解、選別作業等を通して、集中力、持続力、正確性等の基本的な作業遂行力を体得するとともに、達成感、働く意識及び働く意味を理解するように努めました。また、企業の要請に添うためにパソコントレーニングを導入して技術を高めました。

センターの畑で収穫した野菜で調理実習を行い、レシピの選定から材料選び、作業の段取りを訓練生が担当し、買い物から調理まで全員参加し皆で力を合わせて出来上がりました。

(ｴ) 体力トレーニングでは、日々の体力づくりと月１回の体力測定を通して、就労に耐え得る体づくりについて支援しました。また、機能トレーニングを通してリズム感、即時力、反射力を養いました。

(ｵ) 作業上の安全管理については、整理、整頓、清潔、清掃及び危険予知について意識の高揚を図りました。

(ｶ) 出発の式（就職お祝い会）を通して、達成の喜びや感謝の気持ちを養いました。また、花見、七夕、お楽しみ会等の行事を通じて、季節感や心の情緒、表現力を養いました。

イ　施設外トレーニング

各ハローワーク主催の就職面接会に参加し、求人募集の企業に依頼して、職場見学や職場実習を実施しました。

ウ　関係機関との連携

(ｱ) サービス等利用計画に基づいて策定された個別支援計画を実行するため、長野障害者職業センターに職業評価を依頼しました。

(ｲ) 各ハローワークの協力を得て、職場実習先を確保するとともに、求職相談に同行して就職活動に努めました。

(ｳ) 特別支援学校や高等学校を訪問して、各圏域の障害者就業・生活支援センターと連携した見学や体験実習を紹介し、利用促進に努めました。

(ｴ) 利用者の一般就労に向けて、問題解決及び生活支援のため、関係機関によるケース会議を実施するとともに、ハローワーク、市町村及び障害者就業・生活支援センターが開催するケース会議に出席し、情報交換に努めました。

(ｵ) 松本技術専門校の障害者職業訓練コーディネーターと連携して実習支援を行いました。

(ｶ)「松本圏域就労移行支援事業所連絡会」マッシュアップに参加して、会員相互の情報交換を図るとともに、合同面接会に出席して利用者確保に努めました。

エ　家族との連携

連絡シートを活用して、毎日のトレーニング内容や基本的な生活の様子を家族に伝えるとともに、家族からのコメントを通じて、家庭での様子を把握しました。

オ　広報

雇用支援センター独自のホームページ及び法人のホームページにおいて、センターの周知に努めるとともに、新規利用者の確保を図りました。 また、利用者と家族を対象にミニコミ紙を発行し、訓練内容及び活動内容を伝えるとともに、就職への理解を促しました。

カ　職員の資質の向上

就労移行に関する研修を通じて、支援力の向上に努めました。

⑵　ジョブコーチ専任職員による職場定着支援により、平成３０年度の就職者１１人のうち２人が職場定着しています。

⑶　ジョブコーチ資格を有効に活用し、長野障害者職業センターと協力して、１３人の支援を行いました。

⑷　第４４回長野県障害者技能競技大会に参加し、喫茶サービス部門で銀賞、フラワーアレンジメント部門とオフィスアシスタント部門で銅賞、ビルクリーニング部門で努力賞を受賞しました。

３　特記事項

⑴　開設２０周年記念式典

訓練生と式典準備から当日の役割までを行い、大勢の方の参列をいただきました。

⑵　家族と職員の合同研修会

利用者の特性を学ぶため、長野県発達障がいサポート・マネージャーによる家族・職員合同研修会を開催しました。

⑶　地域との交流

センター周辺の草取り・ゴミ拾いを行い、地域美化に努めました。また、歩道の雪かきを行い、地域住民の利便性を図りました。

⑷　就労定着支援事業の指定

平成３１年２月１日に指定され、１人の定着支援を行いました。

４　利用者の状況（平成３１年３月３１日現在）

⑴　利用定員及び現員　（単位：人）

区　分	定　員	現　員	差　引
就労移行支援事業	２０	１２	△８

⑵　平成３０年度異動状況　（単位：人）

区　分	新規利用者数	利用終了者数	差引
就労移行支援事業	１０	１４	△４

⑶　年齢別状況　（単位：人・歳）

区分	18～39歳	40～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合計	平均年齢	前年度平均年齢
男	7	0	0	0	0	7	２３．１	２２．９
女	5	0	0	0	0	5	２４．０	２０．３
合計	１２	0	0	0	0	１２	２３．５	２２．３

⑷　地域別利用者数　（単位：人）

区分	松本市	大町市	塩尻市	安曇野市	木曽郡	東筑摩郡	北安曇郡	その他	合計
男	2	0	1	3	0	1	0	0	7
女	5	0	0	0	0	0	0	0	5
合計	7	0	1	3	0	1	0	0	１２

⑸　障がい状況

ア　療育手帳所持状況　（単位：人）

区分	Ａ１	Ａ２	Ｂ１	Ｂ２	合計
男	0	0	1	4	5
女	0	0	0	4	4
合計	0	0	1	8	9

イ　精神障害者保健福祉手帳所持状況　（単位：人）

区分	１級	２級	３級	合計
男	0	1	1	2
女	0	1	0	1
合計	0	2	1	3

５　生活及び活動の状況（行事等実施状況）

月	行事等の内容
４月	新年度利用開始式、お花見、安全教室（防災等）
５月	野外訓練、避難訓練
７月	長野県障がい者技能競技大会、美術鑑賞（梓川アカデミア館）
８月	七夕飾り、企業見学、センター周辺草取りごみ拾い
９月	長野県障がい者スポーツ大会、松本ハローワーク就職面接会、避難訓練
１０月	開設２０周年記念式典、企業見学
１２月	調理実習（カレー等）、お楽しみ会、大掃除
１月	味噌作り見学体験実習、防犯と社会人マナー講習会（ポリテク職員）、調理実習（餃子作り等）
２月	豆まき、松本ハローワーク就職面接

３月	大掃除、センター周辺草取りごみ拾い
通年	利用開始式
通年	出発の式
通年	家族と職員の合同研修会、職員研修

６　職種別就職の状況　（単位:人）

職種	清掃業	サービス業	農業	製造業	ピッキング	応接メンテ	福祉施設	合計
人数	２	１	１	４	１	１	１	１１

７　職場実習の状況（各月の実人員）　（単位：人）

月	４	５	６	７	８	９	１０	１１	１２	１	２	３	平均
実人員	６	７	８	６	７	５	６	６	８	７	６	９	６．８

※平均は、小数点２位以下四捨五入

８　ジョブコーチによる職場適応援助の状況　（単位：人）

身体	知的	精神	その他	合計
０	７	２	４	１３

９　ＯＪＴ推進員による活動状況　（単位：人）

身体	知的	精神	その他	合計
０	２	０	１	３

平成３０年度　梓荘事業報告

１　事業目標

⑴　設備や職員体制を整え、充実した支援体制の整備に努めます。

⑵　支援に必要な専門的知識について研修を行い、職員の資質の向上に努め、支援の充実をめざします。

⑶　地域に開かれた施設として、より一層地域貢献を進めます。

２　取組結果

⑴　充実した支援体制の整備

ア　新任及び異動職員６人が現場の経験を積み、研修参加などにより自信をつけ、職場に定着しました。

イ　組織全体としては、虐待防止に向けた取組みを充実させることで、支援力を向上させました。

ウ　入浴方法やクラブ活動等の支援内容を見直し、利用者と職員にとって効果的な実施方法に変更しました。

⑵　支援の充実

ア　救急救命訓練及び感染症予防研修を実施し、緊急時の対応力を高めました。ヒヤリハット、事故報告の内容を職員全員で周知検討し、安全で安心できる暮らしの提供に努めました。

イ　障がいの重度化及び利用者の高齢化に対応し、嘱託医、リハビリ専門職との連携を図り、健康な暮らしの提供に努めました。

ウ　季節ごとの行事や定期的に実施した選択食、年２回の日帰り旅行、レクリエーション活動や個別支援計画に沿った外出支援を行い、楽しい暮らしの提供に努めました。

⑶　地域貢献

ア　通所部「つのかげの里」は、１日平均利用者１０人の目標を達成し、在宅障がい者の支援に貢献することができました。

イ　短期入所の実人数は、昨年比４割増、延べ利用人数は昨年比６割増となり、地域の方々の要望に応えることができました。

ウ　梓川中学校１年生と３年生、９クラスの生徒との交流活動を通じて、福祉体験の機会を提供することができました。

３　特記事項

⑴　利用者の健康状態の把握に努め、体調不良時には迅速な医療対応をしましたが、長期入院や逝去による退所者が６人ありました。個々の利用者の状況に応じて支援を実施し、特に施設において利用者が亡くなったケースでは、職員が一丸となって

命を尊ぶ支援を行いました。

⑵　インフルエンザが流行し、福祉施設や病院で集団感染が発症するなか、利用者の不要不急の外出自粛、面会者や職員が菌を持ち込まない予防対策を徹底した結果、感染症の発症はなく、健康な生活を送ることができました。

４　利用者の状況（平成３１年３月３１日現在）

⑴　利用定員及び現員　（単位：人）

区分	定員	現員	差引
生活介護事業（施設）	５５	５１	２８
生活介護事業（通所）		３２	
施設入所支援事業	５０	５１	１

⑵　平成３０年度異動状況　（単位：人）

区分	新規利用者数	利用終了者数	差引
生活介護事業	4	5	△1
施設入所支援事業	5	6	△1

⑶　年齢別状況

ア　入所　（単位：人）

区分	18～39歳	40～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合計	平均年齢	前年度平均年齢
男	２	１７	０	５	１	２５	５５．３	５７．０
女	１	７	４	４	１０	２６	６４．７	６６．０
合計	３	２４	４	９	１１	５１	６０．０	６２．０

イ　通所　（単位：人）

区分	18～39歳	40～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合計	平均年齢	前年度平均年齢
男	６	８	２	１	０	１７	４５．５	４５．４
女	９	５	１	０	０	１５	３５．８	３５．４
合計	１５	１３	３	１	０	３２	４０．７	４０．４

⑷　障害支援区分認定状況

ア　入所　（単位：人）

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計	平均区分	前年度平均区分
男	０	０	０	０	６	１９	２５	５．８	５．７
女	０	０	０	１	１	２４	２６	５．９	５．９
合計	０	０	０	１	７	４３	５１	５．８	５．８

イ　通所　（単位：人）

区分	区分１	区分２	区分３	区分４	区分５	区分６	計	平均区分	前年度平均区分
男	０	０	２	１	６	８	１７	５．２	４．３
女	０	０	２	０	５	８	１５	５．３	５．３
合計	０	０	４	１	１１	１６	３２	５．２	４．８

⑸　地域別利用者数

ア　入所　（単位：人）

区分	松本市	大町市	塩尻市	安曇野市	木曽郡	東筑摩郡	北安曇郡	その他	合計
男	１４	１	２	５	０	１	１	１	２５
女	１４	３	０	３	１	２	１	２	２６
合計	２８	４	２	８	１	３	２	３	５１

イ　通所

区分	松本市	大町市	塩尻市	安曇野市	木曽郡	東筑摩郡	北安曇郡	その他	合計
男	１０	０	０	４	０	３	０	０	１７
女	９	０	０	６	０	０	０	０	１５
合計	１９	０	０	１０	０	３	０	０	３２

⑹　障がい状況

ア　身体障害者手帳所持状況　（単位：人）

区分	身体１級	身体２級	身体３級	身体４級	身体５級	身体６級	合計
男	２１	４	０	０	０	０	２５
女	１５	９	１	１	０	０	２６
合計	３６	１３	１	１	０	０	５１

イ　療育手帳所持状況　（単位：人）

区分	Ａ１	Ａ２	Ｂ１	Ｂ２	合計
男	２	２	１	０	５
女	７	２	０	０	９
合計	９	４	１	０	１４

５　生活及び活動の状況

⑴　行事等実施状況

月	行事等の内容
４月	衣料品出張販売
５月	春祭り・保護者総会
６月	日帰り旅行（飛騨高山）、家族会環境整備
７月	衣料品出張販売、日帰り旅行（上越水族館）、夏祭り
９月	梓川中学校祭見学

１０月	秋祭り
１１月	衣料品出張販売
１２月	忘年会、クリスマス会
１月	新年会（そば会）、りんご湯
２月	節分会、寿司を賞味する会
５月～１１月	梓川中学校１年生及び３年生徒との交流会　計９回
通年	ピアネットのカウンセラー月１回来荘
通年	生け花ボランテア月２回
通年（冬季除く）	ケア梓清掃ボランティア

⑵　クラブ及びレクリエーションの実施状況

クラブ名	実施回数	参加延人数	活動の状況
音楽クラブ	１６	２６２	カラオケ、音楽鑑賞
絵画クラブ	１２	１１７	デッサン、塗り絵
書道クラブ	１１	６４	施設内展示、秋祭り展示
レク外出	５	１９	近隣施設にグループ外出
映画鑑賞	４	６２	施設内にて映画ビデオ鑑賞
合計	４８	５２４	

６　健康管理状況

⑴　健康診断・検査　（単位：人）

実施機関	内　容	人数
病院	呼吸器科検診	１
	外科検診	１
	整形外科検診	２
医院	内科検診	５２
	精神科	１７
その他の医療機関	歯科検診	５０
	健康診断	５２
合計		１７５

⑵　受診人数等　（単位：人・日）

区分	実人数		延日数	
	平成２９年度	平成３０年度	平成２９年度	平成３０年度
受診状況	１４	１２	４４	４５
入院状況	１１	１２	３７９	６０６
施設内処置状況	５２	５２	７，０９２	７，８９２
機能訓練実施状況	５２	５２	５２	５２
合計	１２９	１２８	７，５６７	８，５９５

7　給　食

⑴　年間給食数　（単位：食）

利用者	職員等	合計
５５，１７９	３，４５０	５８，６２９

⑵　一日平均摂取栄養量

区分	目標値	実績
エネルギー	１，５００kcal	１，４８４kcal
タンパク質	６０g	６４．９g
脂質	４２g	４５．０g

⑶　食事内容及び間食状況　（単位：人）

区分	形態	人数	間食
主食	常食	１８	週１回 土曜日
	粥食	２４	
	ミキサー食・ゼリー食	7	
	経管栄養	2	
副食	常食	１１	
	細刻み	8	
	粗刻み	２３	
	ミキサー食・ゼリー食	7	
	経管栄養	2	
合計	５１人		

8　短期入所事業等実施状況　（単位：人）

区分	定員	実人数	延利用日数
短期入所事業	2	１４	４６３
日中一時支援事業	0	3	８６

平成３０年度　共立学舎事業報告

１　事業目標

⑴　安全で利用者が安心して過ごせるサービスの提供

⑵　権利擁護・意思決定支援に向けての対応

⑶　情報共有の強化

⑷　地域社会との連携及び交流

⑸　やりがいのある職場環境づくり

２　取組結果

⑴　安全で利用者が安心して過ごせるサービスの提供

ア　今年度は、施設内外の危険個所の点検及び段差解消などの修繕を行う一方、防犯カメラを設置しました。防災訓練としては、６月に避難訓練、９月には夜間避難訓練を、１２月には防犯訓練を実施しました。

イ　現在、施設での生活介護事業は、クラフト班・ホビー班・ファーマーズ班の３班に分かれての活動ですが、その中のホビー班を更に、行動的な利用者の班と、行動が緩慢な高齢の利用者の班に分けての対応を試みました。結果的には、不穏な状態になった際の適した居場所の必要性がわかりました。

ウ　今年度は身体機能の維持を目的に、各班散歩の回数を増やす一方、訪問マッサージを開始、６人の入所者が利用を開始するなど、日課の見直しを行いました。

⑵　権利擁護・意思決定支援に向けての対応

ア　８月、あい・アドバンス今井と合同で、長野県の出前講座を利用し、権利擁護・虐待研修を、１１月には保護者会との合同講習会で松本市の出前講座を実施しました。

イ　毎月１回の職員会議の際、支援内容についての事例検討等を行い、本人の意思を尊重した支援が実践に反映できるように取組みを始めました。

ウ　意思決定支援、職員の支援方法の確認として、個別支援計画の作成マニュアルを作成しました。

⑶　情報共有の強化

ア　希薄になりつつある保護者会と施設等との情報共有を密にしていくことを目的として、今年度は、他施設の保護者会の活動状況を参考にし、保護者会役員との検討会を開催し、新年度の保護者会の事業計画に載せました。

イ　施設と家族間の連絡ノートの書式を決め、その日に提供したサービス内容を、保護者が簡単に確認できるようにしました。

⑷　地域社会との連携及び交流

ア　短期大学の実習生の受入れや養護学校実習生の見学を受け入れました。

イ　「いまい道の駅」でのクラフト製品やファーマーズ班の椎茸を販売しました。

ウ　近隣中学校の文化祭を見学しました。さらには、文化祭で利用者作品の展示を

行うなど、地域への情報発信に努めました。

エ　月１回の紙芝居、共立祭の運営等にボランティアの皆さんに協力いただき、利用者と交流を深めることができました。

⑸　やりがいのある職場環境づくり

ア　共立学舎は、ほとんどの職員の席が同じ事務室内にあるため、上司を含めて会話し易い、風通しの良い職場環境が出来ています。今年度は、医務室に常駐していた看護師の執務も事務室内とするように調整をしました。

イ　臨時職員を増員し、職員のメリハリのある勤務体制の構築を検討しました。

３　特記事項

⑴　新たに、静養室・多目的トイレ・陶芸室が一棟になった陶芸・静養棟が完成しました。

⑵　看護師の執務室を医務室から事務室に移しました。

⑶　職員の昼食時見守り体制を当番制としました。

４　利用者の状況（平成３１年３月３１日現在）

⑴　利用定員及び現員　（単位：人）

区分	定員	現員	差引
生活介護事業	５５	５７	２
施設入所支援事業	３０	２９	△１

⑵　平成３０年度異動状況　（単位：人）

区分	新規利用者数	利用終了者数	差引
生活介護事業	２	０	２
施設入所支援事業	０	１	△１

⑶　年齢別状況

ア　入所　（単位：人）

区分	18～39歳	40～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合計	平均年齢	前年度平均年齢
男	４	６	２	３	１	１６	５３．２	５２．３
女	２	３	２	３	３	１３	５９．４	５８．５
合計	６	９	４	６	４	２９	５６．３	５５．５

イ　通所　（単位：人）

区分	18～39歳	40～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合計	平均年齢	前年度平均年齢
男	６	１１	２	１	０	２０	４４．０	４３．０
女	４	４	２	０	１	１１	４８．０	４８．８
合計	１０	１５	４	１	１	３１	４６．０	４５．９

⑷　障害支援区分認定状況

ア　入所　（単位：人）

区分	区分１	区分２	区分３	区分４	区分５	区分６	計	平均区分	前年度平均区分
男	０	０	０	１	６	９	１６	５．５	５．４
女	０	０	１	２	８	２	１３	４．８	４．９
合計	０	０	１	３	１４	１１	２９	５．２	５．２

イ　通所　（単位：人）

区分	区分１	区分２	区分３	区分４	区分５	区分６	計	平均区分	前年度平均区分
男	０	０	２	９	７	２	２０	４．５	４．５
女	０	０	１	７	３	０	１１	４．２	４．２
合計	０	０	３	１６	１０	２	３１	４．４	４．４

⑸　地域別利用者数

ア　入所　（単位：人）

区分	松本市	大町市	塩尻市	安曇野市	木曽郡	東筑摩郡	北安曇郡	その他	合計
男	１１	０	０	０	１	３	１	０	１６
女	６	０	１	５	０	０	０	１	１３
合計	１７	０	１	５	１	３	１	１	２９

イ　通所　（単位：人）

区分	松本市	大町市	塩尻市	安曇野市	木曽郡	東筑摩郡	北安曇郡	その他	合計
男	１３	０	５	０	０	２	０	０	２０
女	６	０	２	０	１	２	０	０	１１
合計	１９	０	７	０	１	４	０	０	３１

⑹　障がい状況

ア　身体障害者手帳所持状況　（単位：人）

区分	身体１級	身体２級	身体３級	身体４級	身体５級	身体６級	合計
男	０	１	０	１	０	０	２
女	０	２	１	０	０	０	３
合計	０	３	１	１	０	０	５

イ　療育手帳所持状況　（単位：人）

区分	Ａ１	Ａ２	Ｂ１	Ｂ２	合計
男	２４	０	１１	１	３６
女	９	３	１２	０	２４
合計	３３	３	２３	１	６０

5　生活及び活動の状況

⑴　行事等実施状況

月	行事等の内容
４月	１日 新年度入所式、１９日 利用者健康診断 ２２日 保護者会総会
５月	９日 歯科検診、３０日 救急救命講習会
６月	１９日 環境整備、２６日 利用者避難訓練
７月	７日 七夕会、１２日 第三者委員報告会、１９日 権利擁護研修
８月	９日 納涼祭
９月	４日 歯科検診、１０日 県障がい者スポーツ大会参加 １４日 運動会、２２日 夜間避難訓練
１０月	１５日 共立祭
１１月	９日 ファーマーズ班旅行、１６日 ホビー班、クラフト班旅行 １７日 保護者会研修会、２０日 インフルエンザ予防接種
１２月	２日 イオンボランティア、２１日 クリスマス会
１月	１７日 三九郎
２月	５日 節分
３月	２日 虐待研修、５日 ひな祭り
通年	あのねの会（紙芝居）4/23、6/18、7/23、9/10、11/19、12/17、3/18　計７回

⑵　クラブ及びレクリエーションの実施状況

クラブ名	実施回数	参加延人数	活動の状況
スポーツボイス	1	５９	音楽に合わせた健康体操
カラオケ	2	１０８	カラオケ大会
合計	3	１６７	

6　健康管理状況

⑴　健康診断・検査　（単位：人）

実施機関	内　容	人数
病院	精神科検診	３１４
医院	内科検診	５６
その他の医療機関	歯科検診	９７
合計		４６７

⑵　受診人数等　（単位：人・日）

区分	実人数		延日数	
	平成２９年度	平成３０年度	平成２９年度	平成３０年度
受診状況	３２	３１	４０５	３１５
入院状況	５	２	１５９	７５
施設内処置状況	２５	２５	１，４８５	１，３０２
合計	６２	５８	２，０４９	１，６９２

７　給　食

⑴　年間給食数　（単位：食）

利用者	職員等	合計
３６，５８７	２，５４９	３９，１３６

⑵　一日平均摂取栄養量

区分	目標値	実績
エネルギー	２，０００kcal	２，０３４kcal
タンパク質	７５g	７９．７g
脂質	４４．４～５５．６g	５２．７g

⑶　食事内容及び間食状況　（単位：人）

区分	形態	実人数	間食
主食	常食	４９	毎日
	粥食	８	
副食	常食	４５	
	細刻み	１	
	粗刻み	１０	
ミキサー食・ゼリー食		１	
経管栄養		０	
合計	５７人		

８　短期入所事業等実施状況　（単位：人）

区分	定員	実人数	延利用日数
短期入所事業	２	１０	４７８
日中一時支援事業	０	１０	２４０

平成３０年度　第２共立学舎事業報告

１　事業目標

⑴　就労継続支援Ｂ型事業の充実

⑵　工賃向上に向けた取組みの実施

⑶　事業所単独化に向けた取組み

２　取組結果

⑴　就労継続支援Ｂ型事業の充実

福祉的就労の場として、工賃を向上するため、資源物回収のほか、リサイクルトイレットペーパーの販売及び施設内外の受託作業を取り入れ、利用者の希望又は適性に合わせた多様な事業の提供に努めました。

ア　就労チーム

平成３０年度は、引き続き法人内施設の清掃及び介護補助を受託しました。また、施設外就労契約を結び、松本合同庁舎及び道の駅「いまい恵の里」の清掃・除草作業、信州スカイパーク内の花壇整備を請け負い、ネット販売会社からの検品、組立て及び梱包作業を受託しました。さらに、松本技術専門学校やポリテクセンター松本の除草作業及びワックスがけ作業を請け負い実施しました。

イ　リサイクルチーム

資源物回収事業の古紙回収では、新規回収先が４件増えましたが、特に回収量が多い雑誌の相場価格が前年度末に１キログラム当り６．６円から３．０円に下落した影響により、収益は厳しい状況となりました。

廃食用油の回収量は前年並みでしたが、岡谷市消費者の会との話し合いにより、次年度から廃食用油の岡谷市一斉回収（年２回）を開始することになりました。

トイレットペーパーの販売は、入札により松本市の公共施設に納入しました。

⑵　工賃向上に向けた取組みの実施

受託事業の委託先の新規開拓のため、行政、企業等に照会を行い、小口ではありますが新規に仕事を請け負うことが出来ました。

また、インターネット販売会社、水道関係の会社等からの受託作業は、丁寧な仕事を行うことで取扱量が増え、インターネット販売会社とは施設外就労契約を行い、会社に出向いて作業を行いました。

⑶　事業所単独化に向けた取組み

事業所の単独化に向けた取組みの一歩として、８月から昼食を第２共立学舎において摂ることができるようになりました。このことは、施設を利用する利用者にとって、四季の寒暖や天候に左右されず、ゆとりのある食事や休憩の時間が持てるようになりました。また、利用実績の請求に係る業務を共立学舎から移行する体制を整えました。

３　特記事項

⑴　家族との連携では、松本山雅のスタジアムバック封入作業に保護者有志の協力をいただきました。

⑵　資格取得を目指す短期大学の実習生２人のほか、養護学校生の利用体験を６人受け入れました。

⑶　感染症予防として、インフルエンザワクチンの接種希望者に予防接種を実施するともに、出勤時の検温やうがい・手洗いを全員が励行することで、平成３０年度には施設関係者の感染症の発生はありませんでした。

４　利用者の状況（平成３１年３月３１日現在）

⑴　利用定員及び現員　（単位：人）

区　分	定員	現員	差引
就労継続支援Ｂ型事業	４０	３９	1

⑵　平成３０年度異動状況　（単位：人）

区　分	新規利用者数	利用終了者数	差引
就労継続支援Ｂ型事業	1	0	1

⑶　年齢別状況　（単位：人）

区分	18～39歳	40～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合計	平均年齢	前年度平均年齢
男	１５	7	1	1	0	２４	３５．４	３５．０
女	5	9	0	1	0	１５	４４．８	４３．９
合計	２０	１６	1	2	0	３９	３９．０	３８．５

⑷　障害支援区分認定状況　（単位：人）

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計	平均区分	前年度平均区分
男	1	4	6	9	0	0	２０	３．２	３．２
女	1	2	5	4	2	0	１４	３．３	３．４
計	2	6	１１	１３	2	0	３４	３．２	３．３

⑸　地域別利用者数　（単位：人）

区分	松本市	大町市	塩尻市	安曇野市	木曽郡	東筑摩郡	北安曇郡	その他	合計
男	２０	0	1	1	1	1	0	0	２４
女	6	0	1	2	0	2	0	4	１５
合計	２６	0	2	3	1	3	0	4	３９

⑹　障がい状況

ア　身体障害者手帳所持状況　（単位：人）

区分	身体１級	身体２級	身体３級	身体４級	身体５級	身体６級	合計
男	0	0	1	0	0	0	1
女	1	0	0	0	0	0	1
合計	1	0	1	0	0	0	2

イ　療育手帳所持状況　（単位：人）

区分	Ａ１	Ａ２	Ｂ１	Ｂ２	合計
男	9	1	１２	2	２４
女	6	0	9	0	１５
合計	１５	1	２１	2	３９

5　生活及び活動の状況

行事等実施状況

月	行事等の内容
４月	１日 新年度入所式、１９日 利用者健康診断、２１日 保護者総会
６月	１１日 歯科検診、２１日 内科検診、２９日 避難訓練
７月	２５日 暑気払い
８月	２０日 共立学舎食堂から第２共立学舎多目的ホールへの食事場所の変更
９月	４日 歯科検診、２６日 避難訓練、２９日 共立祭
１０月	１１日 合同運動会、２４日・２５日 一泊旅行
１１月	２０日 インフルエンザ予防接種
１２月	２０日 クリスマス会
１月	１６日 三九郎、２８日 新年会
３月	２５日 慰労会

6　健康管理状況

⑴　健康診断・検査　（単位：人）

実施機関	内　容	人数
病院	精神科検診	３８
医院	内科検診	３５
その他の医療機関	歯科検診	４２
合計		１１５

⑵　受診人数等　（単位：人・日）

区分	実人数		延日数	
	平成２９年度	平成３０年度	平成２９年度	平成３０年度
受診状況	１９	１０	１６１	９５
入院状況	０	０	０	０
施設内処置状況	１０	０	７５０	０
合計	２９	１０	９１１	９５

７　給　食

⑴　年間給食数　（単位：食）

利用者	職員等	合計
８，４７４	６４９	９，１２３

⑵　一日平均摂取栄養量

区分	目標値	実績
エネルギー	２，０００kcal	２，０３４kcal
タンパク質	６５～８５g	７９．７g
脂質	４４．４～５５．６g	５２．７g

⑶　食事内容及び間食状況　（単位：人）

区分	形態	実人数	間食
主食	常食	３８	なし
副食	粗刻み	１	
合計	３９人		

８　生産活動の状況

⑴　廃油回収量　（単位：ℓ）

入			出		
前年度繰越	当年度回収	合　計	使用料	出荷量	次年度繰越
０	２０，７８９	２０，７８９	０	２０，７８９	０

⑵　支給工賃総額　（単位：円）

平成２８年度	平成２９年度	平成３０年度
１１，１２５，３５８	１１，１３８，２８１	１１，５５０，５９６

平成３０年度　あい・アドバンス今井事業報告

１　事業目標

⑴　施設支援目標を「個性を尊重した温かい支援により、ハピネス（幸福感）を届ける」とし、「笑顔・挨拶・アイコンタクト」を基本に、利用者個々の状況に応じたきめ細かな支援に努めます。

⑵　支援力の向上と強化を図ります。

⑶　利用者の基本的人権の尊重を基本に、さらなる人権意識の向上に努めます。

⑷　地域の福祉資源としての機能を果たし、地域との交流を深めます。

２　取組結果

⑴　利用者個々の状況に応じたきめ細かな支援

ア　利用者の障がい特性や個性に合わせた班編成に取り組み、刺激の少ない環境や先を見通せる構造化された支援の組立てにより、利用者が不安を感じることなく日中活動ができるよう配慮しました。

イ　知障部における高齢利用者の生活の場についての検討内容に基づき、個々の利用者に適した生活の場について、家族を含め本人の気持ちに寄り添った対応を行いました。

ウ　強度行動障がい者支援については、特別支援学校や外部ケース会議に積極的に関わり、圏域の福祉ニーズの把握に努め、これからの施設のあり方について検討しました。

エ　年２回の歯科検診、月４回の班ごとの訪問歯科、訪問マッサージ、内科・精神科の検診とともに、医療面の支援の充実に努めました。また、感染予防のための研修会の実施や大型加湿機３台を追加配備したことで、感染症の発症を防ぐことができました。

⑵　支援力の向上及び強化

ア　長野県知的障がい福祉協会主催の自閉症セミナー･精神科セミナー(年４回)、強度行動障がい支援者研修（基礎・実践４回）に職員を派遣し、専門的知識を身に付ける取組みができました。

イ　高齢の利用者が安全に生活できるよう、介護関連の研修会に参加しました。また、法人内の身体障がい者施設において介護を経験する職員交流研修を実施しました。

ウ　外部講師による研修会、精神科嘱託医による利用者の事例を通した勉強会を実施し、利用者一人ひとりの精神疾患に対する対応力を高めました。

⑶　利用者の基本的人権の尊重

ア　虐待防止に向け、人権擁護及び虐待防止研修を実施しました。また、接遇に対する「職員セルフチェックアンケート」を実施し、自分の支援について見つ

め直す機会を持ちました。

イ　毎月のケース会議において、常に身体拘束０（ゼロ）に向けた意識を持つよう、身体拘束の現状について検証し、解消に努めました。また、身体拘束に関する記録について理解を高めました。

ウ　毎日の朝礼において、「あい・アドバンス今井行動規範」を唱和し、人権意識の向上に努めました。また、毎月、コーディネーター３人に訪問いただき、利用者との交流を通して、率直な意見や感想を施設運営に反映しました。さらに「苦情解決第三者委員会」を開催し、現状報告を行いました。

⑷　地域貢献・交流等の推進

ア　養護学校生徒の体験利用の受入れ、短期入所の取組みなどにより、地域の入所施設としての機能を果たしました。また、県内短期大学及び専門学校の施設実習を受け入れ、地域の福祉人材育成に貢献しました。

イ　花壇整備の一部を第２共立学舎に業務委託し､就労の場を提供するとともに、地域の皆さまに花を楽しんでいただきました。

３　特記事項

⑴　高齢化・重度化への対応

利用者の高齢化が進むなか、介護保険が利用できる６５歳以上の方で、医療行為が継続的に必要な方、ほとんど車いすで生活されている方等、本人の意思を尊重しながら、出身市町村及び家族と連携し、より安全な生活環境の整った新しい生活の場を検討した結果、介護保険の施設等に３人が移行されました。

⑵　松本短期大学との交流

「ふれあいモミの木公園」の花壇の共同整備、学生の実習受入れ等、交流を継続し、福祉人材育成のための連携をしました。

また、同短期大学にアートクラブの指導を依頼するなど、学生のみならず、教職員との交流も図り、今後の協力関係の基盤づくりができました。

⑶　利用者の自己表現活動の充実と地域への発信

利用者の表現活動を充実し、絵や書などの作品を地域の公民館等で発表しました。また、平成２９年度に引き続き、１月には松本市内で第２回アート展を開催しました。

４　利用者の状況（平成３１年３月３１日現在）

⑴　利用定員及び現員　（単位：人）

区分	定員	現員	差引
生活介護事業	６０	６２	２
施設入所支援事業	５０	４７	△３

⑵　平成３０年度異動状況　（単位：人）

区分	新規利用者数	利用終了者数	差引
生活介護事業	3	5	△２
施設入所支援事業	1	4	△３

⑶　年齢別状況

ア　入所　（単位：人・歳）

区分	18～39歳	40～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合計	平均年齢	前年度平均年齢
男	1	2	9	4	4	２６	５７．１	５７．９
女	0	6	3	5	2	２１	５４．１	５１．０
合計	1	8	１２	9	5	４７	５５．７	５５．７

イ　通所　（単位：人・歳）

区分	18～39歳	40～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合計	平均年齢	前年度平均年齢
男	7	2	0	1	1	１１	４０．８	４４．０
女	1	1	0	1	2	5	５５．６	５７．０
合計	8	3	0	2	3	１６	４５．８	４７．５

⑷　障害支援区分認定状況

ア　入所　（単位：人）

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計	平均区分	前年度平均区分
男	0	0	0	2	9	１５	２６	５．５	５．４
女	0	0	0	1	5	１５	２１	５．９	５．９
合計	0	0	0	3	１４	３０	４７	５．６	５．６

イ　通所　（単位：人）

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計	平均区分	前年度平均区分
男	0	0	0	2	7	2	１１	５．０	５．０
女	0	0	0	1	3	1	5	５．０	４．８
合計	0	0	0	3	１０	3	１６	５．０	４．９

⑸　地域別利用者数

ア　入所　（単位：人）

区分	松本市	大町市	塩尻市	安曇野市	木曽郡	東筑摩郡	北安曇郡	その他	合計
男	１８	0	4	1	0	2	0	1	２６
女	１３	1	0	3	0	4	0	0	２１
合計	３１	1	4	4	0	6	0	1	４７

イ　通所　（単位：人）

区分	松本市	大町市	塩尻市	安曇野市	木曽郡	東筑摩郡	北安曇郡	その他	合計
男	8	0	1	1	0	1	0	0	１１
女	3	1	0	0	0	1	0	0	5
合計	１１	1	1	1	0	2	0	0	１６

⑹　障がい状況

ア　身体障害者手帳所持状況　（単位：人）

区分	身体１級	身体２級	身体３級	身体４級	身体５級	身体６級	合計
男	4	5	1	1	2	1	１４
女	4	1	0	2	0	0	7
合計	8	6	1	3	2	1	２１

イ　療育手帳所持状況　（単位：人）

区分	Ａ１	Ａ２	Ｂ１	Ｂ２	合計
男	２８	2	6	0	３６
女	２３	0	2	1	２６
合計	５１	2	8	1	６２

5　生活及び活動の状況

⑴　行事等実施状況

月	行事等の内容
４月	家族会総会、お花見会
５月	松本歯科大巡回診療
６月	布団交換、家族会主催旅行（１泊２日）、家族会旅行（日帰り）
７月	家族会主催旅行（日帰り）、七夕会、医師会検診、救命救急講習会、家族会ボランティア活動
８月	納涼祭
９月	夜間避難訓練、家族会ボランティア活動、あい・今井祭
１０月	安全運転講習会、布団交換
１１月	防災訓練、知障協福祉大会、芸術鑑賞会、インフルエンザ予防接種
１２月	クリスマス会
１月	三九郎
２月	節分豆まき、家族会理事会
３月	ひな祭り、避難訓練
通年	精神科検診（毎月実施）
通年	訪問歯科検診（週１回）
通年	訪問マッサージ（毎週実施）

通年	訪問散髪（利用者希望日随時）
通年	コーディネーター会議（毎月実施）
通年	ボランティア受入（紙芝居、カラオケ、おやつ作り）

⑵　クラブ及びレクリエーションの実施状況　（単位：回・人）

クラブ名	実施回数	参加延人数	活動の状況
アートクラブ	１０	１５０	書、絵の作成（自由な自己表現活動）
運動クラブ	３	９０	体育館を利用して軽運動を行う
音楽クラブ	１４	１６２	楽器演奏、合唱
合計	２７	４０２	

6　健康管理状況

⑴　健康診断・検査　（単位：人）

区分	内　容	人数
病院	精神科検診	５７
	歯科検診	５７
その他の医療機関	胸部レントゲン・採血・心電図	５５
合　計		１６９

⑵　受診人数等　（単位：人・日）

区分	実人数		延日数	
	平成２９年度	平成３０年度	平成２９年度	平成３０年度
受診状況	６２	５８	２，２８１	１，７６４
入院状況	９	１１	５７０	２９８
施設内処置状況	３	１５	７２０	１，５６３
合計	７４	８４	３，５７１	３，６２５

7　給　食

⑴　年間給食数　（単位：食）

利用者	職員等	合計
５２，７８３	２，５４１	５５，３２４

⑵　一日平均摂取栄養量

区分	目標値	実績
エネルギー	１，８００kcal	１，８２７kcal
タンパク質	６７．５g	７５．７g
脂質	４０～４５g	５０．８g

⑶　食事内容及び間食状況　　（単位：人）

区分	形態	人　数	間食
主食	常食	４３	なし
	粥食	１５	
副食	常食	３９	
	粗刻み	9	
	細刻み	9	
	ミキサー食・ゼリー食	1	
合計	５８人		

※提供なし１人

８　短期入所事業等実施状況　　（単位:人）

区分	定員	実人数	延利用日数
短期入所事業	4	１２	６０１
日中一時支援事業	0	3	２３５
タイムケア事業	0	1	６５

平成３０年度　ささらの里事業報告

１　事業目標

⑴　持ち上げない介護（ノーリフトケア）の推進

⑵　利用者の意思決定支援のためのプロセスの充実

⑶　透明性の高い施設運営

⑷　利用者の健康維持、安全性の高い支援

⑸　質の高い支援を目指した研修の実施と職員の労働環境の改善

⑹　地域で暮らす障がい者の生活と社会参加の支援

２　取組結果

⑴　持ち上げない介護（ノーリフトケア）の推進

ア　施設内研修として、ロボットスーツ（ＨＡＬ（ハル））を職員が試着し、介護機器が身体の負担を軽減できることを体感できました。一方、装着の難しさ、煩わしさ、費用が高額であること等の課題があり、導入の難しさが明らかになりました。

イ　寝たきりの利用者の移乗ボード、座位の可能な利用者の車椅子からベッドへの移乗にスライドボードを利用し、利用者及び介護者双方の負担軽減を図りました。

ウ　国際福祉機器展に参加し、ノーリフトに関する器具について知識を深めることができました。併せて、残存機能の維持・活用に関わる技術を習得する機会となりました。

エ　骨折のリスクが高い利用者はもとより、日々状態が変化する利用者に対し、安全で安楽な移乗ができること、支援者の身体的な負担を軽減することを目的に日々の介護方法を見直し、ノーリフトケアの技術向上を図りました。

⑵　利用者の意思決定支援のためのプロセスの充実

ア　クラブ活動、日帰り旅行他外出の内容、エンパワメント活動における大学生との交流等について、利用者の希望を把握し、選択の幅を拡大しました。

イ　給食委員会において、利用者の意見及び希望に沿った食事の提供を検討し、満足度の向上を図りました。

ウ　面談、ケース会議、遠方の方との電話での聞取りの際など、意志決定支援会議記録書式を試験的に取り入れました。

エ　ささら会全体会において、利用者の意見、要望等を尊重した支援に取り組みました。

⑶　透明性の高い施設運営

ア　第三者委員・保護者コーディネーター報告会を年３回（６月、１１月、３月）開催し、利用者から寄せられた苦情、要望、意見等を報告し、改善に向けた取組みを行いました。

イ　保護者・職員親睦会を開催し、保護者と担当職員が気軽に意見交換することが

できました。

⑷　利用者の健康維持、安全性の高い支援

ア　日常的な体調管理によって、体調変化の早期把握と早期受診につなげました。

イ　事故（２件）の原因分析と再発防止策を講じました。また、誤薬の取組みのひとつとして、錠剤をできる限り粉薬に変更しました。

ウ　静養室を感染症などの緊急対応に使用できるよう、仕切り設置等の改修を行いました。

⑸　質の高い支援を目指した研修の実施と職員の労働環境の改善

ア　各種研修会において、障がい福祉を取り巻く環境の変化等について最新情報を得ることができました。施設内において伝達を行い、職員各自が研鑽に励みました。

イ　関東ブロック研修大会の参加を通じ、企画運営のノウハウを習得するとともに、ネットワークの拡大につながりました。

ウ　各種研修の参加、問題と思われる行動に対する検証の実施と共有化及び機会をとらえた直接的指導を進め、支援の質の向上に努めました。

⑹　地域で暮らす障がい者の生活と社会参加の支援

ア　地域生活を希望していた利用者２人が第２みすぎの森に地域生活移行を果たしました。

イ　みすぎの森及び第２みすぎの森利用者の日中活動の場として、支援体制を充実しました。

ウ　通所利用者の日中活動の充実及び短期入所利用者の受入れを進めました。

３　特記事項

⑴　開設２０周年記念事業

ア　利用者と職員が主体となり、保護者、ボランティア、地域住民及び関係者の協力を得て１０月２１日（日）に開設２０周年記念式典を開催しました。

イ　１２月１６日（日）に開設２０周年後夜祭兼クリスマス会を開催しました。

ウ　開設２０周年を記念して、保護者会からマッサージチェアとプロジェクターを寄贈いただきました。

⑵　施設補強等対策

換気設備の全面改修を行いました。

４　利用者の状況（平成３１年３月３１日現在）

⑴　利用定員及び現員　（単位：人）

区分	定員	現員	差引
生活介護事業	５９	６６	7
施設入所支援事業	５０	５２	2

⑵　平成３０年度異動状況　（単位：人）

区分	新規利用者数	利用終了者数	差引
生活介護事業	9	1	8
施設入所支援事業	4	4	0

⑶　年齢別状況

ア　入所　（単位：人）

区分	18～39歳	40～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合計	平均年齢	前年度平均年齢
男	2	１２	5	3	4	２６	５８．１	５６．８
女	5	7	5	4	5	２６	５６．３	５６．２
合計	7	１９	１０	7	9	５２	５７．２	５６．３

イ　通所　（単位：人）

区分	18～39歳	40～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合計	平均年齢	前年度平均年齢
男	5	0	2	0	0	7	３９．０	３４．０
女	3	3	1	0	0	7	３８．４	４５．０
合計	8	3	3	0	0	１４	３８．７	３７．１

⑷　障害支援区分認定状況

ア　入所　（単位：人）

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計	平均区分	前年度平均区分
男	0	0	0	1	2	２３	２６	５．８	５．８
女	0	0	0	0	6	２０	２６	５．７	５．８
計	0	0	0	1	8	４３	５２	５．８	５．８

イ　通所　（単位：人）

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計	平均区分	前年度平均区分
男	0	0	0	0	0	7	7	６．０	６．０
女	0	0	0	0	1	6	7	５．８	６．０
合計	0	0	0	0	1	１３	１４	５．９	６．０

⑸　地域別利用者数

ア　入所　（単位：人）

区分	松本市	大町市	塩尻市	安曇野市	木曽郡	東筑摩郡	北安曇郡	その他	合計
男	１５	1	5	1	1	3	0	0	２６
女	１５	1	4	1	1	2	1	1	２６
合計	３０	2	9	2	2	5	1	1	５２

イ　通所　（単位：人）

区分	松本市	大町市	塩尻市	安曇野市	木曽郡	東筑摩郡	北安曇郡	その他	合計
男	3	0	1	0	0	0	0	3	7
女	1	0	2	1	0	2	0	1	7
合計	4	0	3	1	0	2	0	4	１４

⑹　障がい状況

ア　身体障害者手帳所持状況　（単位：人）

区分	身体１級	身体２級	身体３級	身体４級	身体５級	身体６級	合計
男	２１	5	0	0	0	0	２６
女	１８	7	1	0	0	0	２６
合計	３９	１２	1	0	0	0	５２

イ　療育手帳所持状況　（単位：人）

区分	Ａ１	Ａ２	Ｂ１	Ｂ２	合計
男	3	0	1	1	5
女	8	1	0	0	9
合計	１１	1	1	1	１４

ウ　精神障害者保健福祉手帳所持状況（単位：人）

区分	１級	２級	３級	合計
男	0	0	0	0
女	1	1	0	2
合計	1	1	0	2

５　生活及び活動の状況

⑴　行事等実施状況

月	行事等の内容
４月	春の顔合わせ会、保護者会総会、お花見
５月	保護者会作業
６月	日帰り旅行、保護者・職員親睦会
７月	第三者委員報告会、夜間避難訓練、夏祭り、保護者・職員親睦会
８月	知事選挙不在者投票
９月	関ブロ職員研修大会、保護者・職員親睦会
１０月	ささら寄席、２０周年記念式典、秋祭り

１１月	感染研修会、第三者委員報告会、そば会、保護者・職員親睦会
１２月	２０周年後夜祭、クリスマス会
１月	保護者会新年会、新年鍋会
２月	節分、そば会
３月	ひなまつり、ボランティア感謝デイ、第三者委員報告会
通年	ソーイングボランティア、フラワーズ（コーラス）、銭太鼓サークル、音楽体操ボランティア、リトルキヨシコンサート、アルプス民謡連合会、個人ボランティア、ピアカウンセリング

⑵　クラブ及びレクリエーションの実施状況

クラブ名	実施回数	参加延人数	活動の状況
音楽クラブ	１５	２７７	カラオケ、音楽ＤＶＤ鑑賞
書道クラブ	１４	１２６	書道（秋祭りテーマ：一人一文字等）
園芸クラブ	１０	９４	種まき、支柱立て、大根収穫など
美術クラブ	１５	１５１	ハンドスタンプ、和紙染めなど
パソコンクラブ	１２	４３	カレンダー作りなど
おひさまクラブ	１３	１１４	オイルマッサージ、足浴、日光浴等
ささらシネマ	１８	３１８	ＤＶＤ鑑賞
紙芝居・創作	１２	２２０	紙芝居
音楽・ピアノ	１３	３４９	音楽ボランティア・ピアノ演奏
季節活動	７	１２２	花見（小池公園）、柿の収穫（施設内）
合計	１２９	１，８１４	

６　健康管理状況

⑴　健康診断・検査　（単位：人）

実施機関	内　容	人数
病院	精神科検診	１５６
医院	内科検診	１０４
その他の医療機関	歯科検診	５２
合計		３１２

⑵　受診人数等　（単位：人・日）

区分	実人数		延日数	
	平成２９年度	平成３０年度	平成２９年度	平成３０年度
受診状況	５２	５２	２，５２２	１，９４８
入院状況	１８	１７	５８９	６６１
施設内処置状況	５２	５２	７，６５３	７，７２８
機能訓練実施状況	５２	５２	１，８７２	２，１６０
合計	１７４	１６６	１２，６３６	１２，４９７

7　給　食

⑴　年間給食数　（単位：食）

利用者	職員等	合計
５５，６０８	２，４２５	５８，０３３

⑵　一日平均摂取栄養量

区分	目標値	実績
エネルギー	１，６００kcal	１，６２０kcal
タンパク質	６５．０g	６４．２g
脂質	４５．０g	４７．０g

⑶　食事内容及び間食状況　（単位：人）

区分	形態	人数	間食
主食	常食	２５	なし
	粥食	１３	
	ミキサー食・ゼリー食	３	
	経管栄養	１１	
副食	常食	１１	
	細刻み	１６	
	粗刻み	１１	
	ミキサー食・ゼリー食	３	
	経管栄養	１１	
合計	５２人		

8　短期入所事業等実施状況　（単位：人）

区分	定員	実人数	延利用日数
短期入所事業	4	２２	６２９
日中一時支援事業	0	3	１８
タイムケア事業	1	1	4

平成３０年度　こきりこささら事業報告

１　事業目標

⑴　利用者満足度アンケートの結果を参考に、利用者及び家族の希望意思決定に基づいた安全で質の高いサービスの提供を行い、サービスの満足度を高めます。

⑵　職員間で法人理念、ささらの里職員倫理綱領、職員行動規範及び利用者支援方針を共有し、チームによる支援力を高めます。

⑶　１日平均利用者数２０人を目標に取り組みます。

⑷　ささらの里と協働して開設２０周年記念事業を実施します。

２　取組結果

⑴　サービスの満足度向上

ア　「利用者満足度アンケート」の結果をもとに、地域社会及びささらの里と連携して、生きがいのある地域生活を側面的に支援しました。

イ　介護サービス、送迎サービス、日中活動等について、利用者の意向を尊重し、安全で質の高いサービスの提供に努めました。特に、県内観光地への外出は、利用者の希望に沿った取組みを行いました。

⑵　チームによる支援力

ア　ケア会議に積極的に参加し、家族及び他事業所との連絡を密にすることで、職員間の情報共有を図りました。

イ　法人理念、ささらの里職員倫理綱領及び職員行動規範に基づいてサービスを提供し、対人援助の場面において真摯に対応することを心がけました。

⑶　平均利用者数２０人

ア　新規利用希望者について、関係機関及び家族と調整を行い、１０人が利用を開始しました。

イ　利用日の拡大など、利用者の希望に沿って検討を行いました。

ウ　ささらの里のショートステイ利用者及びみすぎの森の利用者を積極的に受け入れ、希望に沿った日中活動の支援を行いました。

エ　１日平均利用者数は１８．０８人にとどまりました。

⑷　開設２０周年記念事業

ア　２０周年イベントとして、和太鼓、楽器演奏、日本舞踊等を楽しみました。

イ　ささらの里と協働し、ささらの里祭り及び２０周年記念式典において利用者とともに壁面創作、会場の飾りつけ等を行いました。また、当日の参加希望を確認し、送迎や付き添いの調整を行いました。

３　特記事項

送迎業務における車両事故はありませんでした。安全運転に心がけ安心した送迎サービスを提供することができました。

４　利用者の状況（平成３１年３月３１日現在）

⑴　利用定員及び契約者　（単位：人）

区分	定員	契約者数
生活介護事業	２０	６６
地域活動支援センター事業	6	7

⑵　平成３０年度異動状況　（単位：人）

区分	新規利用者数	利用終了者数	差引
生活介護事業	7	4	3
地域活動支援センター事業	3	0	3

⑶　年齢別状況　（単位：人）

区分	18～39歳	40～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合計	平均年齢	前年度平均年齢
男	１１	１５	7	4	7	４４	５２．４	５１．０
女	１１	9	5	2	2	２９	４６．２	４９．０
合計	２２	２４	１２	6	9	７３	４９．９	５０．０

⑷　障害支援区分認定状況　（単位：人）

区分	区分１	区分２	区分３	区分４	区分５	区分６	計	平均区分	前年度平均区分
男	1	4	１４	3	9	１３	４４	４．２	４．５
女	0	5	3	5	4	１２	２９	４．５	４．６
合計	1	9	１７	8	１３	２５	７３	４．３	４．６

⑸　地域別利用者数　（単位：人）

区分	松本市	大町市	塩尻市	安曇野市	木曽郡	東筑摩郡	北安曇郡	その他	合計
男	４０	0	4	0	0	0	0	0	４４
女	２３	0	3	0	0	2	0	1	２９
合計	６３	0	7	0	0	2	0	1	７３

⑹　障がい状況

ア　身体障害者手帳所持状況　（単位：人）

区分	身体１級	身体２級	身体３級	身体４級	身体５級	身体６級	合計
男	２５	１０	3	2	0	1	４１
女	１１	１２	2	1	0	0	２６
合計	３６	２２	5	3	0	1	６７

イ　療育手帳所持状況　（単位：人）

区分	Ａ１	Ａ２	Ｂ１	Ｂ２	合計
男	8	0	1	2	１１
女	9	1	3	0	１３
合計	１７	1	4	2	２４

ウ　精神障害者保健福祉手帳所持状況　（単位：人）

区分	１級	２級	３級	合計
男	0	1	0	1
女	1	0	0	1
合計	1	1	0	2

５　生活及び活動の状況

⑴　行事等実施状況

月	行事等の内容
４月	職員研修（救急救命講習・安全運転研修）、お花見外出
５月	オープンテラス食事会、一日外出（イオンモール松本他）、外食外出（２回）、戸外散歩
６月	外食外出（２回）
７月	一日外出（イオンモール他）、外食外出（３回）、紫陽花見学
８月	一日外出（上高地）、外食外出（３回）、行事食（うなぎ）
９月	一日外出（駒ヶ根、梓水苑バーベキュー）、外食外出（２回）
１０月	一日外出（松本市内、梓水苑バーベキュー、茶臼山動物園）、外食外出（４回）、職員研修（安全運転講習会）
１１月	一日外出（諏訪・岡谷、アイシティ、いくさかの郷、上田城）外食外出（３回）、２０周年記念イベント（和太鼓、アルパ＆日本舞踊、ギター演奏等）
１２月	一日外出（安曇野）、そば会、クリスマス会（年末お楽しみ会）
１月	新年会、書初め、新春食事会、映画（ＤＶＤ）鑑賞
２月	満足度アンケート実施、そば会
３月	記念撮影、アルバム作り、行事食（ひな祭り）
通年	演芸ボランティア（和楽クラブ）

⑵　クラブ及びレクリエーションの実施状況

クラブ名	実施回数	参加延人数	活動の状況
創作活動	５７	２８８	２０周年記念壁面創作・壁面バラ装飾、フェルトのキーケース、ハロウィンランタン、ミニツリー、干支（イノシシ）の置物、アルバム作り
調理実習	５４	１１４	フルーチェビスケット、あんこときな粉のホットケーキ、イチゴクッキー、チーズケーキ、バラのアップルパイ、たこ焼き、ティラミス等

機能維持訓練	６３	５０３	歩行訓練、車いす自走訓練、ストレッチ、マッサージ、立ち上がり、エスカルゴ等
カラオケ	７３	４８４	ホームカラオケ、プロジェクター、音響設備を使用し実施（チップ２枚増設）
合計	２４７	１，３８９	

６　給　食

⑴　年間給食数　（単位：食）

利用者	職員等	合計
４，９３２	７８８	５，７２０

⑵　一日平均摂取栄養量（昼食のみ）

区分	目標値	実績
エネルギー	６４０kcal	６３９kcal
タンパク質	２７g	２３．８g
脂質	１７g	２０．９g

⑶　食事内容及び間食状況

区分	形態	実人数	間食
主食	常食	６２	なし
	粥食	6	
副食	常食	５９	
	細刻み	2	
	粗刻み	7	
ミキサー食・ゼリー食		2	
経管栄養		3	
合計	７３人		

７　短期入所事業等実施状況　（単位：人）

区分	定員	実人数	延利用日数
地域活動支援センター事業	6	7	１８８

平成３０年度　みすぎの森事業報告

１　事業目標

⑴　「一人ひとりの意思及び人格を尊重」し、ゆとりある環境のなかで個別の希望に合わせた生活支援を行います。

⑵　第２みすぎの森利用者のグループホーム生活への定着を図ります。

⑶　「みすぎの森」と「第２みすぎの森」が協力し合い、効率的な運営を図るとともに、ささらの里と連携して支援体制の強化を目指します。

２　取組結果

⑴　一人ひとりの意思及び人格の尊重

ア　利用者の増加に伴い、通所方法及び入浴方法の検討が必要となりました。実施方法を模索し、ささらの里の入浴と第２みすぎの森に設置したミスト浴の有効利用に努め、利用者の希望に応えました。

イ　家庭的で季節感のある行事（焼肉、流しそうめん、繭玉作り、花火等）を企画しました。行事の体験を通じて「楽しむ」、「自信を持つ」、「新しい仲間と交流する」場となりました。

ウ　利用者の健康維持のため、医療機関の療法士の協力のもと、機能維持訓練を積極的に取り入れました。

エ　短期入所は、定期的な受入れ、緊急性があり連泊を要した利用実績がありました。

オ　第２みすぎの森の開設に伴い、見学者が増加しました。また、短期入所の開始に向けた日帰り体験が多くあり、関心や需要の高さがうかがえました。

カ　冬季間の生活の定着、健康の維持に向けた体調管理の強化及び感染症予防に努めました。

キ　圏域外の入所施設からの見学を受け入れたところ、当施設に対する関心が高く、入居を希望する声が多くありました。地域移行の推進に向けて、情報の提供に努めました。

⑵　第２みすぎの森利用者の定着支援

ア　新規利用者として、在宅者及びささらの里を含む３施設から入所者７人を受け入れ、地域移行の推進に努めました。

イ　利用者が新しい環境に定着できるよう、利用者及び職員が一丸となって試行を重ねました。

ウ　入居希望者が事前に短期入所を利用することで、入居に向けた意思決定につなげることができました。

エ　新規利用者が医療的ケア、リハビリ等を円滑に受けられるよう調整しました。

オ　利用者の地域活動のため、他事業者とのネットワークづくりに取り組みました。

⑶　支援体制の強化

第２みすぎの森の開所に伴い、みすぎの森、第２みすぎの森及びささらの里職員の協力体制を再構築しました。

３　特記事項

⑴　施設補強等対策

第２みすぎの森の進入路を景観に配慮した石積工法で整備しました。

⑵　防犯対策

ア　みすぎの森西側敷地境界の擁壁及びフェンスの設置工事を行いました。

イ　第２みすぎの森に防犯カメラを設置しました。

４　利用者の状況（平成３１年３月３１日現在）

⑴　利用定員及び現員　（単位：人）

区分	定員	現員	差引
共同生活援助	１４	１４	０

⑵　平成３０年度異動状況　（単位：人）

区分	新規利用者数	利用終了者数	差引
共同生活援助	7	0	7

⑶　年齢別状況　（単位：人）

区分	18～39歳	40～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	合計	平均年齢	前年度平均年齢
男	5	0	2	0	0	7	３９．０	３４．０
女	3	3	1	0	0	7	３８．４	４５．０
合計	8	3	3	0	0	１４	３８．７	３７．１

⑷　障害支援区分認定状況　（単位：人）

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計	平均区分	前年度平均区分
男	0	0	0	0	0	7	7	６．０	６．０
女	0	0	0	0	1	6	7	５．８	６．０
合計	0	0	0	0	1	１３	１４	５．９	６．０

（５）地域別利用者数　（単位：人）

区分	松本市	大町市	塩尻市	安曇野市	木曽郡	東筑摩郡	北安曇郡	その他	合計
男	3	0	1	0	0	0	0	3	7
女	1	0	2	1	0	2	0	1	7
合計	4	0	3	1	0	2	0	4	１４

⑹　障がい状況

ア　身体障害者手帳所持状況　（単位：人）

区分	身体１級	身体２級	身体３級	身体４級	身体５級	身体６級	合計
男	7	0	0	0	0	0	7
女	6	1	0	0	0	0	7
合計	１３	1	0	0	0	0	１４

イ　療育手帳所持状況　（単位：人）

区分	Ａ１	Ａ２	Ｂ１	Ｂ２	合計
男	4	0	0	0	4
女	1	3	0	0	4
合計	5	3	0	0	8

5　生活及び活動の状況

行事等実施状況

月	行事等の内容
４月	花見、オープンハウス
５月	焼肉会、流しそうめん会
６月	盆踊り練習会
７月	夜間避難訓練、知事選挙期日前投票
８月	流しそうめん会、花火会
９月	ひまわり号参加、福祉の喫茶店参加（寿地区）
１０月	ささら寄席鑑賞
１１月	福祉の文化祭参加（寿地区）
１２月	クリスマス会兼保護者・職員親睦会
１月	三九郎、繭玉作り
２月	節分、恵方巻き作り
３月	雛祭り、甘酒会

6　健康管理状況

⑴　健康診断・検査　（単位：人）

実施機関	内　容	人　数
病院	歯科検診	１１
	胸部レントゲン	１３
合　計		２４

⑵　受診人数等　（単位：人・日）

区分	実人数		延日数	
	平成２９年度	平成３０年度	平成２９年度	平成３０年度
受診状況	7	１４	１４１	２９４
入院状況	1	1	５６	２５
施設内処置状況	7	１４	２５	６２
機能訓練実施状況	7	１４	３４３	２，４３６
合計	２２	４３	５６５	２，８１７

7　短期入所事業等実施状況　（単位：人）

区分	定員	実人数	延利用日数
短期入所事業	2	１９	２６３
宿泊体験事業	2	1	3